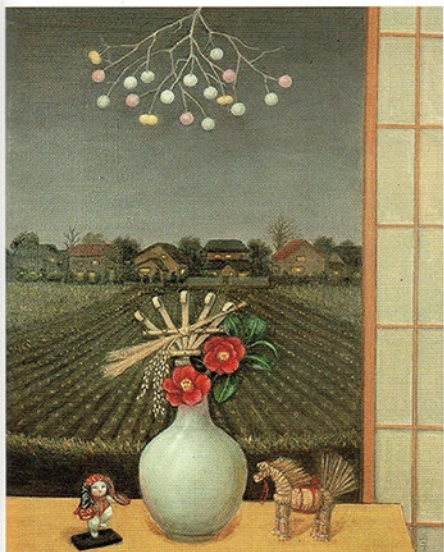




審査員特別賞 秋元正子 Masako Akimoto

栃木県生まれ。師・高田城、一水会、埼玉県美術家協会、ローマグレゴリアン大学認定作家、メデチ文化協会正会員、国際金獅子賞、パリ美術展カール・ゼル・ド・ルーブルグランプリ地球球宝賞、サンクトペテルブルク美術アカデミー賞、ノーベル平和センターより感謝状の授与、南アフリカ国立展キングプロテアの称号を受ける



「小正月」F30

新年を迎えてすぐの1月15日、つまり小正月を田舎の知人宅へ招かれた折、2度目に経験した正月の慶びを絵にした。田園風景をハツクに手前のステージに季節のサインの飾りを吊るし、紅梅や民芸を描いて祝意を表わした。
文/長谷川 栄

審査員特別賞 秋山正美 Masami Akiyama

1947年生まれ。富士アートフォーラム会員、第一美術協会会員、日本美術家連盟会員、'98第1回個展TEPCOギャラリー（沼津）、'05～'10ギャラリー石上にて6回連続個展（沼津）、'07第78回第一美術協会展・佳作賞、'13第84回同展・会員奨励賞、'15第86回同展・会員奨励賞



「敵」F100 第86回第一美術展 会員奨励賞

漢字も絵文字（象形文字）から発展したもので、元は絵。画家は「敵」という漢字を自由に崩して抽象画にする。茶褐色の地に、さまざまな線が自由自在に走り、そこに崩しの文字が配置される。眺めていると、敵対する者同志が激しく争うイメージを帯びてくる。
文/堀 堅輔

審査員特別賞 秋谷祐子 Yuko Akiya

平成歴35年小原流元教授、EPUフレッシュ・プリザーブドフラワー本部講師、ギャラリーインプレッション（札幌）主宰、'15ドイツ・マンハイム[GALERIE BOHNER]委託展示販売開催中、[GALERIE BOHNER]オリジナル画集制作、道集[International Contemporary Masters Vol.10]掲載、LA最大規模画廊アートフェア [World Wide Art Los Angeles Show]にて画集発表



「スペースワープII ゆがんだ時空」100×100×10

人の心の動きを癒すオアシスをコンセプトに、小原流華道から大型ディスプレイにも挑む。メタルを熔接しその弾力ある質感の輝きや、熔接痕の抽象的フォルムと色の有機的面白さ、それにアクリルの透明感も利かせる傑作である。
文/長谷川 栄

審査員特別賞 荒井耀子 Yoko Arai

1930年長野県生まれ。師・福田啓助、信州美術会・伊那美術協会会員、専社社人形美術工芸会代表



「折り(人形)」

日本の伝統的な造形手法、木彫り色で制作された人形の表情や風合いは深い憂いさと気品に満ち溢れている。戦争を体験した作者の平和への祈念と永久の愛が伝わってくる静謐で精神性の高い傑作である。
文/松田十蘭